

尾小屋メインロードの活用等に係る サウンディング型市場調査実施要領

1. 市場調査の背景・目的

(1) 調査の背景

小松市尾小屋町にある石川県立尾小屋鉱山資料館（以下「資料館」という。）は、昭和 59 年の開館から 40 年以上が経過し、施設や設備の老朽化、利用者ニーズに対応した展示機能の更新が課題となっています。また、資料館に併設の旧坑道を利用した展示施設の尾小屋メインロード（以下「メインロード」という。）についても、平成 4 年のリニューアルから 30 年以上が経過し、支保の落下で一部のみ公開になるなど老朽化が進んでいます。さらに、運営を支える地域人口の減少やボランティアの高齢化なども重なり、施設の魅力づくりと持続的な担い手の確保も課題となっています。

こうした背景を踏まえ、資料館を核として周辺の地域資源を活用した交流の場・学びの場を創造し、持続可能な地域づくりの実現に向け、「尾小屋鉱山資料館を核とした周辺持続活性化構想」を令和 7 年 5 月に策定しました。

令和 7 年度には、構想の具体化に向け、石川県による資料館の改修計画と連携を図りながら、小松市において、メインロードの改修計画や資料館周辺の持続活性化へ向けた施策について検討し、「基本計画」として取りまとめます。

(2) 調査の目的

本調査は、民間事業者や地域団体・ボランティア団体の皆様との個別対話を通じ、メインロードの坑道空間の新たな活用の可能性や事業化の課題等について、広くご意見やご提案を頂き、今後の基本計画（以下）に反映することを目的としています。

【基本計画の内容】

① メインロードの施設リニューアル計画	導入機能（構成・概要）、改修方針（電気設備更新）
② メインロードの展示リニューアル計画	展示コンセプト・テーマ、展示・体験ストーリー等
③ メインロードの新たな活用計画	導入機能（範囲・概要）、必要な設備要件
④ 管理・運営計画	資料館と一体となった管理運営
⑤ 工程計画・概算事業費の算出	事業スケジュール、設計・工事の概算額
⑥ 基本図面類の作成	坑道内機能概要図、施設内イメージ図（機能・展示）
⑦ 資料館及び尾小屋町・西尾地区との連携方策	資料館と連携した体験機能・尾小屋との連携事業

2. 対象施設の概要

(1) マインロードの概要

名称	尾小屋マインロード（石川県立尾小屋鉱山資料館に併設）
所在地	小松市尾小屋町阿手坂地内（資料館は小松市尾小屋町カ1-1）
規模	全長約550m，坑道幅約2～4m
施設内容	旧坑道を利用した展示施設。 原寸ジオラマで鉱山採掘当時の作業風景等を再現。 令和5年より坑道内トロッコ運行のイベントを年5回程度開催。
入館料	一般500円（資料館・マインロード入館料） 高校生以下・小松市内65歳以上は入館無料
休館日	水曜日，祝日の翌日，12月1日～3月24日（冬期休館）
運営	小松市直営（担当：小松市国際文化交流部 文化振興課（博物館））

(2) 資料館・マインロードの沿革

昭和59年12月	資料館 開館 RC造平屋建て，延床面積290.40㎡。県施設を小松市が借受けて運営
昭和63年10月	マインロード 開設 現在のマインロードの内の東側通路165mを開設
平成4年4月	マインロード リニューアルオープン 現在のマインロード約550mが全面開通
平成4年6月	資料館 リニューアルオープン（増築棟完成） 増築棟はRC造2階建て，延床面積300.26㎡。全体で590.66㎡
平成14年4月	近隣に小松市立ポッポ汽車展示館がオープン 尾小屋鉄道の車両3両を展示。資料館の関連施設として活用
令和3年5月	マインロード西側通路の展示ブースの一部木材が腐食で落下 安全確保のためマインロードを全面休止
令和3年11月	安全確保されたマインロード東側通路165mを再開 西側・南側通路は閉鎖のまま現在に至る
令和5年6月	マインロード東側通路にてトロッコ運行を始める 年5回程度のイベントとして運行
令和6年度	マインロード応急復旧工実施設計を実施 令和7・8年度に応急復旧工事を実施予定

(3) 資料館・マインロードの近年の利用状況（入館者数の推移）

年度	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6
入館者数	6,362	3,326	2,777	4,180	5,179	4,759

※令和2・3年度の入館者数の減少は新型コロナウイルスの影響による

3. マインロード活用の方向性

小松市では、今後のマインロード活用の方向性として、以下の3つのゾーンに分けた活用を想定しています（基本計画で詳細を検討します）。



① 徒歩探索ゾーン 西側直線通路 193m

坑道を歩いてもらうことで、**鉱山の物語（作業・技術・暮らし）**を五感レベルで伝え、遺構を活かした展示や体験の演出により、**学びと没入感を同時に提供する**。

② トロッコ体験ゾーン 東側直線通路 165m

尾小屋鉱山イベントデー（年6回程度）で人気のある「**マインロード内トロッコ運行**」を常設の定期的な体験プログラムとし、内容の充実を図る。

③ 新たな坑道活用ゾーン 南側通路 201mの内、活用区間 約 75m・50m

岩盤の亀裂や木枠裏面のコンクリート剥落が確認された箇所は、来館者利用に係る安全確保のための復旧工事が難しいため、**一部区間を閉鎖**とする。

残る区間については、通常は一般来館者の立入りを不可としつつ、**坑道内の安定した温度・湿度を活かした新たな活用の可能性**を探る。

4. 調査での個別対話の内容

本調査では、3に掲げた「マインロード活用の方向性」を踏まえて、以下の5つのテーマ（一部の項目でも構いません）を中心にご意見・ご提案を伺います。

(1) 坑道空間の活用アイデア
・ 坑道空間の特性を活かした活用案（観光・教育・イベント・食品製造・実証研究等） ・ その際に必要となる設備・環境条件（電気・衛生環境等） ・ 導入規模や試験導入の可能性
(2) 事業化の採算性・マーケット性
・ 想定するターゲット層（観光客，教育旅行，市民，企業研修等） ・ 導入コストの規模感 ・ 利用料の設定や販売展開のイメージ
(3) 官民連携の可能性
・ 考えられる連携スキーム（指定管理，共同研究・実証，貸付） ・ 市に求める役割（施設整備，広報等） ・ 民間が担える部分（運営等）
(4) 課題・懸念点
・ 技術的・衛生的課題 ・ 文化財的制約への配慮（坑道の展示・体験機能との両立） ・ 事業継続性・収益安定性に対する懸念
(5) 資料館及び尾小屋町・西尾地区との連携
・ 資料館と連携した事業 ・ 尾小屋町の地域資源と連携した事業 ・ 西尾地区と連携した事業

5. 調査のスケジュール・手続き

(1) スケジュール

令和7年 10月22日（水）	実施要領公表，市ホームページ掲載，質問書受付開始
10月29日（水）	質問書 提出期限（午後5時）
10月31日（金）	質問書への回答
11月 4日（火）	説明会・現地見学会参加申込書 提出期限（午後5時）
11月17日（月）	説明会・現地見学会の実施
11月26日（水）	個別対話の参加申込書 提出期限（午後5時）
12月19日（金）	個別対話提案資料 提出期限（午後5時）
令和8年 1月13日（火） ～1月19日（月）	個別対話の実施（土・日曜日除く）
2月 下旬	調査結果概要の公表

(2) 質問の受付及び回答

本調査に関する質問は質問書（様式1）にご記入の上，8に掲げる担当部署へ電子メールにより提出してください。

いただいた質問の回答は，小松市ホームページに掲載し，個別回答は行いません（質問のあった事業者の名称は公表しません）。

(3) 説明会・現地説明会の参加申込書の提出

本調査に関する説明会・現地説明会への参加を希望する場合は，参加申込書（様式2）にご記入の上，8に掲げる担当部署へ電子メールにより提出してください（但し，メール着信確認の電話をお願いします）。

電子メールの件名は「説明会・現地見学会参加申込」としてください。

説明会・現地見学会への参加は任意です（個別対話への参加条件ではありません）。

(4) 説明会・現地見学会の実施時間等の通知

実施要領に記載の参加資格を確認し，参加申込書の提出があった事業者に対して，説明会・現地見学会の実施時間等について，電子メールにて連絡します。

① 実施日時	令和7年11月17日（月） 午後2時～午後4時を予定しています。 午後2時00分～2時30分 説明会 午後2時30分～3時30分 現地説明会 午後3時30分～4時00分 質疑・応答
② 実施場所	《集合場所》石川県立尾小屋鉱山資料館（小松市尾小屋町力1-1） 《現地見学会》対象施設を案内し，施設概要を説明します。
③ その他	駐車場は，資料館前駐車場をご利用ください。

(5) 個別対話の参加申込書の提出

本調査に関する個別対話への参加を希望する場合は，参加申込書（様式3）にご記入の上，8に掲げる担当部署へ電子メールにより提出してください（但し，メール着信確認の電話をお願いします）。

電子メールの件名は「個別対話の参加申込」としてください。

(6) 個別対話の実施時間の通知

実施要領に記載の記載の参加資格を確認し，参加申込書の提出があった事業者に対して，対話の実施時間について，電子メールにて連絡します。

① 実施日時	令和7年1月13日（火）～19日（月）（土・日除く）の午前10時から午後5時までの間で，1事業者1時間程度を予定しています。
② 実施場所	小松市役所（小松市小馬出町91番地）会議室 又は WEB会議
③ その他	駐車場は，小松市役所正面駐車場をご利用ください。

(7) 個別対話提案資料の提出

個別対話の実施にあたっては、提案資料（様式4）にご記入の上、8に掲げる担当部署へ電子メールにより提出してください（但し、メール着信確認の電話をお願いします）。

電子メールの件名は「個別対話提案資料」としてください。

別途資料がある場合は、併せて送付してください。

(8) 個別対話の実施

対話は、事業者の皆様から提案資料をもとに一括してご説明いただいた後、質問、意見交換をさせていただきます。

知的財産（アイデアやノウハウ等）保護の観点から対話は個別で実施します。

(9) 実施結果概要の公表

対話の実施結果概要については、小松市ホームページで公表する予定です。

なお、参加事業者の名称は非公表とします。また、個々の内容については、参加事業者の知的財産保護に配慮した上で、その概要を公表します。

公表にあたっては、事前に参加事業者に内容の確認をさせていただきます。

6. 留意事項

本調査への参加実績は、今後、事業者公募等を行う際の評価対象とはなりません。また、提案の内容については、必ずしも本事業に反映されるとは限りません。但し、今後の対象施設等の管理運営に関する検討、また、これに関する公募に際して、本調査で得たアイデアやノウハウを使用する場合がありますので、ご了承ください。

本調査への参加に要する費用は、参加事業者のご負担となりますのでご了承ください。

本調査の終了後において、必要に応じて追加の対話やアンケート等を実施させていただく場合がありますので、その際にご協力をお願いいたします。

7. 参加対象

本調査の参加対象は、当該対象施設等の管理運営に関心のある法人等（法人格は問いません）とし、個人での参加はできないものとします。また、個別対話参加申込時において、以下に掲げる要件をすべて満たしている必要があります。

- (1) 小松市暴力団排除条例（平成24年小松市条例第11号）第2条に規定する暴力団及び同条例第6条に該当する暴力団員（以下「暴力団員」という。）、並びに法人でその役員（業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者をいい、法人に対しその者と同等以上の支配力を有するものと認められる者を含む。）のうちに暴力団員等に該当する者があるもの及び暴力団員等が出資、融資、取引その他の関係を通じてその事業活動に支配的な影響力を有する者でないこと。
- (2) 前号に規定する者と密接な関係を有する者でないこと。
- (3) 前2号に掲げるもののほか公共の安全及び福祉を害するおそれのある団体又は当該

団体に属する者でないこと。

8. 担当部署及び申し込み・問い合わせ

〒923-0904 小松市小馬出町5番地（宮本三郎美術館内）

小松市立博物館 担当：津田

電子メールアドレス museum@city.komatsu.lg.jp

電話（0761）22-0714（土曜日、日曜日及び祝日を除く。午前9時から午後5時まで）

小松市ホームページ（実施要領・質問回答・実施結果概要の公表等）

<https://www.city.komatsu.lg.jp/soshiki/1049/18152.html>

9. 参考資料

「尾小屋鉱山資料館を核とした周辺持続活性化構想」本編・概要版

(様式1)

令和 年 月 日

質 問 書

小松市立博物館 宛

商号又は名称		
No.	実施要領の 項目等	質疑内容
連絡先		担当者職氏名 電 話 番 号 E - m a i l

(様式2)

令和 年 月 日

説明会・現地見学会 参加申込書

商号又は名称			
所在地			
代表者氏名			
連絡担当者	所属部署		
	氏名		
	電話番号		
	メールアドレス		
参加予定者	所属	役職	氏名
	※連絡担当者含め記載してください。行は適宜追加してください。		
備考欄	※その他、ご意見等があれば記載ください。		

上記にご記入の上、本様式をメールに添付して、お申込みください。

宛先：小松市立博物館 <museum@city.komatsu.lg.jp>

申込期限：令和7年11月4日（火）まで

(様式3)

令和 年 月 日

個別対話 参加申込書

商号又は名称			
所在地			
代表者氏名			
連絡担当者	所属部署		
	氏名		
	電話番号		
	メールアドレス		
参加予定者	所属	役職	氏名
	※連絡担当者含め記載してください。行は適宜追加してください。		
参加方法 (チェック印)	<input type="checkbox"/> 対面		<input type="checkbox"/> WEB
希望時間帯	実施日は、令和8年1月13日(火)～19日(月)です。日時の希望があれば、下記にチェックを入れてください。時間は調整の上、ご連絡します。		
	1月13日(火)	<input type="checkbox"/> 10時～12時	<input type="checkbox"/> 13時～15時 <input type="checkbox"/> 15時～17時 <input type="checkbox"/> いつでも
	1月14日(水)	<input type="checkbox"/> 10時～12時	<input type="checkbox"/> 13時～15時 <input type="checkbox"/> 15時～17時 <input type="checkbox"/> いつでも
	1月15日(木)	<input type="checkbox"/> 10時～12時	<input type="checkbox"/> 13時～15時 <input type="checkbox"/> 15時～17時 <input type="checkbox"/> いつでも
	1月16日(金)	<input type="checkbox"/> 10時～12時	<input type="checkbox"/> 13時～15時 <input type="checkbox"/> 15時～17時 <input type="checkbox"/> いつでも
	1月19日(月)	<input type="checkbox"/> 10時～12時	<input type="checkbox"/> 13時～15時 <input type="checkbox"/> 15時～17時 <input type="checkbox"/> いつでも
備考欄	※その他、ご意見等があれば記載ください。		

上記にご記入の上、本様式をメールに添付して、お申込みください。

宛先：小松市立博物館 <museum@city.komatsu.lg.jp>

申込期限：令和7年11月26日(水)まで

(様式4)

個別対話 提案資料

以下の5つのテーマ（一部の項目でも構いません）について、ご意見・ご提案をお聞かせください。

商号又は名称 _____

(1) 坑道空間の活用アイデア

・坑道空間の特性を活かした活用案（観光・教育・イベント・食品製造・実証研究等）
・その際に必要となる設備・環境条件（電気・衛生環境等）
・導入規模や試験導入の可能性

(2) 事業化の採算性・マーケット性

・想定するターゲット層（観光客、教育旅行、市民、企業研修等）
・導入コストの規模感
・利用料の設定や販売展開のイメージ

(3) 官民連携の可能性

・考えられる連携スキーム（指定管理、共同研究・実証、貸付）
・市に求める役割（施設整備、広報等）
・民間が担える部分（運営等）

(4) 課題・懸念

・技術的・衛生的課題
・文化財的制約への配慮（坑道の展示・体験機能との両立）
・事業継続性・収益安定性に対する懸念

(5) 資料館及び尾小屋町・西尾地区との連携

・資料館と連携した事業
・尾小屋町の地域資源と連携した事業
・西尾地区と連携した事業

上記にご記入の上、本様式をメールに添付して、ご提出ください。

※記入が難しい項目については空欄でも構いません。可能な範囲で記入してください。

※必要に応じて図面の挿入やその他参考資料等を添付してください。

※行数の付加など記載内容に応じて、本様式を適宜加工していただいても構いません。

宛先 : 小松市立博物館 museum@city.komatsu.lg.jp

提出期限：令和7年12月19日(金)まで